

## P F I 導入の可能性に関する調査

### 1 . P F I 導入可能性調査の前提

の2「整備方針」の目標の一つである「最大限の費用対効果」の観点から、P F I 手法での施設整備や運営について、下記の前提により検討しました。

#### 【基本条件】

導 入 施 設 名	保健所・保健センター及び 休日夜間急病診療所	地域療育センター（仮称）
延 べ 床 面 積	約9,000㎡	約4,000㎡
事 業 期 間	15年～20年	15年～20年
事業方式及び事業形態	B T O / サービス購入型	B T O / サービス購入型

- ・事業期間について：資金調達市場の現状やプロジェクトファイナンスの成立可能性など変動要因を加味し、15年～20年とします。
- ・事業方式及び事業形態について：施設において提供する機能内容から、集客性を重視するものでないため、B T O / サービス購入型とします。

### 2 . V F M の試算

基本条件に基づき、建設業務、施設の維持管理業務等、提供機能の一部業務の委託化等を想定し、試算したところ

保健所・保健センター及び休日夜間急病診療所……………	5.6%程度
地域療育センター（仮称）……………	1.4%程度

という結果になりました。

この結果は、現時点における「従来方式」と「P F I 方式」の比較であり、各種法律の改正・廃止等による変動値等は見込んでいないことから、将来の結果を示しているものではありません。

#### 【用語説明】

P F I : プライベート・ファイナンス・インシアティブの略、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

B T O : ビルト・トランスファー・オペレーションの略、建設・譲渡・運営、民間事業者が自らの資金で建設し、施設の所有権を公共側に譲渡するが、管理・運営は引き続き行使する方式。

V F M : バリュ・フォー・マネーの略、従来型の公共事業方式による行政コストの推計値とP F I 方式の事業期間全体にわたるコスト総計の比較。